



▲片樋まんぼ入口

いなべ市では北勢町を中心に分布していて、治田を遠ざかるにつれてまんぼの数が減少しており、昔、治田に鉾山に関わった抗夫の堀削技術を活用し掘られたといわれています。

まんぼを掘った当初は、大きいほど水量が多いと思い、大きなものを掘っていたそうです。しかし、後に小さくしても水量に変わらないことが解り、新しいまんぼほど小さいものとなっています。

当時は、道具といえばトグワ・ジョウレン・鉄棒・箕ジョーキ・修羅程度で、この時代にまんぼを掘る事は大変な工事でした。

片樋地区では年に一度、大寒の期間中に「まんぼ浚え」を行い土砂等を浚え、まんぼの維持に努めているそうです。

大安町に100余りのまんぼがあり、多くの水田を潤してきました。そのため、稲作が盛んになり、人々の生活が改善されることになりました。収穫されたお米は、お仏飯としてお供えさせていただいていることに思いをはせずにはおられません。

「片樋の歩み」より一部抜粋
組報部会 木村祐邦(教楽寺)

農業・生活用水路

全長約1,000m

安永4年(1775)

祭礼(まんぼ祭)7月1日

近年7月1日に近い日曜日



トグワ



ジョーレン



木製修羅(しゅら)



▲「片樋まんぼ」の碑

まんぼとは水不足を解消するため、地表から約2~5m下を素掘でトンネル式に横穴を掘り、地下水を集め農業水にしたもので世界に誇る、用水路です。普通の井戸は地表から縦穴を掘って地下水を汲み上げますが、まんぼは横井戸式で利用するものです。

「まんぼ」は、大安町では丹生川・石榑・三里地区に存在しますが、ともに「間歩」と書いています。北勢町では「間歩」「間保」と書きますが、いずれも広辞苑には記されていません。

まぶ(間府)という語を広辞苑によると「鉾山の穴、坑道、坑道に入ること」と書かれています。

桑名の老舗
仏壇・仏具・お洗濯
福井屋
白い象が目印
寺町本店 新西方店 明竜工場
代表 0594-22-3121

墓石・石材工事一式
石 慶
大安町石榑南
デンワモヤッパライシヤ
☎78-0148
(工場) ☎78-2039

■運動具
■事務用品
■学校教材教具
■開運印・実印
■銀行印・認印
しまや
嶋屋
いなべ市北勢町阿下喜
TEL72-2151
FAX72-3436

団体参拝から個人旅行まで 旅のご用命は
観光庁長官登録旅行業第55号(一社)日本旅行業協会正会員
名鉄観光サービス株式会社
四日市支店
四日市市諏訪町4番5号 住友生命四日市ビル1階
電話 059-353-8558 本願寺担当者:佐藤 篤